



羅臼町議会だより



しれとこ

第4回定例会	2~3
決算特別委員会	4~5
一般質問	6~8
町内行政視察	9

平成24年

第**132**号

2月10日



撮影者 吉井 政治 氏
提 供 知床羅臼町観光協会

平成23年 第4回定例議会

去る11月28日第6回臨時議会、12月15日、第4回定例議会が開かれた。

議案12件、発議5件が提出され、すべて原案通り可決した。
以下、抜粋して掲載致します。

消防事務組合負担金	九四六万円
知床・羅臼まちづくり基金積立金	二〇三万円
魚の城下町通り活性化計画作成委託	二五〇万円
道知事及び道議会議員選挙	△十七万円
町長及び町議会議員選挙	△四六六万円
地域支え合い体制づくり事業	八十二万円
ひとり親家庭等医療費助成	十万円
特別会計繰出金	七六六万円
児童手当支給	二一五万円
生活習慣病・がん検診	七十六万円
葬斎場・霊園管理運営	六十四万円
特別会計繰出金	△一、七三五万円
野生生物残滓処理委託	二十四万円
妊婦・乳幼児検診	三十七万円
その他	三一七万円

一般会計

一三八万円追加

総額三十八億八、九二五万円

国保会計

1,510万円追加

総額 11億 7,197万円

一般被保険者療養給付費	441万円
一般被保険者高額給付費	901万円
出産育児一時金	168万円

介護保険会計

4,930万円追加

総額 3億 9,645万円

介護サービス等給付に要する経費	4,650万円
高額介護サービスに要する経費	280万円

後期高齢者 医療会計

393万円追加

総額 5,140万円

診療所会計

1億5,965万円減額

総額 9億 8,129万円

水道事業会計

50万円追加

総額 2億 1,218万円

財産の取得 について

- 1.5ステラMRI一式
- 64列マルチスライスCT
スキャナ一式

条例 改正

- ・北方領土国後館、知床草
楽園設置条例を廃止する
条例制定について
- ・特別職の職員で非常勤の
ものの報酬及び費用弁償
に関する条例の一部を改
正する条例制定について
- ・羅臼町郷土資料館設置条
例の制定について

契約締結

羅臼町医師住宅新築工事
加賀・尾田JV
工期 平成二十三年十
二月十六日～平成二十
四年五月三十一日

意見書

- 環太平洋経済連携協定
に反対する意見書
- 看護師・介護職員等の
大幅増員と夜勤改善で
安全・安心の医療・介
護、地域医療の拡充を
求める意見書
- 根室海峡におけるロシ
ア連邦トロール船に関
する意見書
- 北方領土問題の解決促
進等に関する意見書

財政は

平成22年度羅臼町各会計 決算特別委員会報告

どうなっているの？

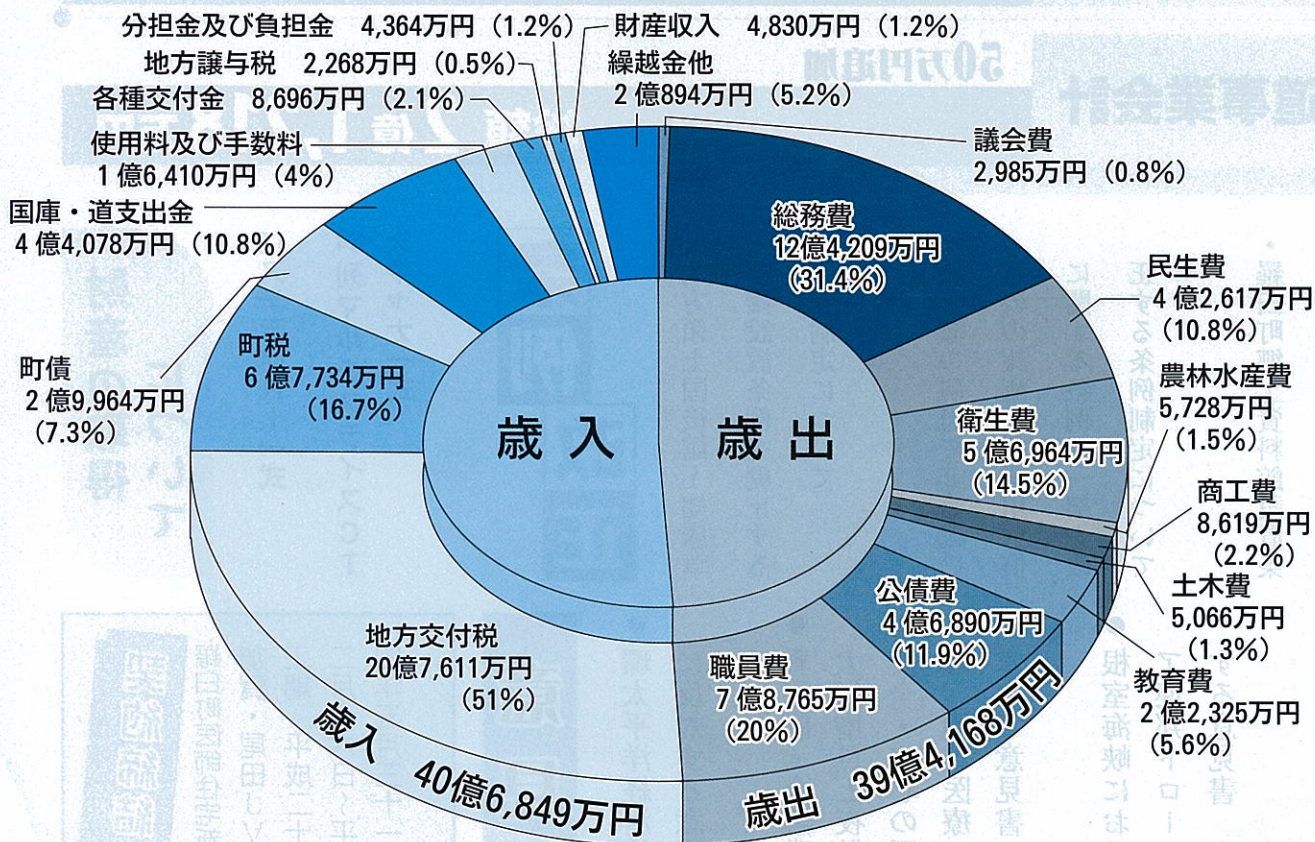
議会に報告

本特別委員会は先の九月定例会で設置され同時に付託された決算認定七議案について審査を行いました。

当町の財政は依然として厳しい状況に変わりませんが、平成二十年度決算から施行された「地方自治体健全化法」の平成二十二年度決算に基づく健全化判断比率は各基準をすべてクリアし、且つ一般会計において持続可能な財政基盤の確立に向けて財政調整基金、減債基金等への積立が出来たことは努力の結果であり、さらに健全な行政運営の維持のためにも、町税など歳入の確保に向けた取り組みを積極的に進めるべきと考えます。

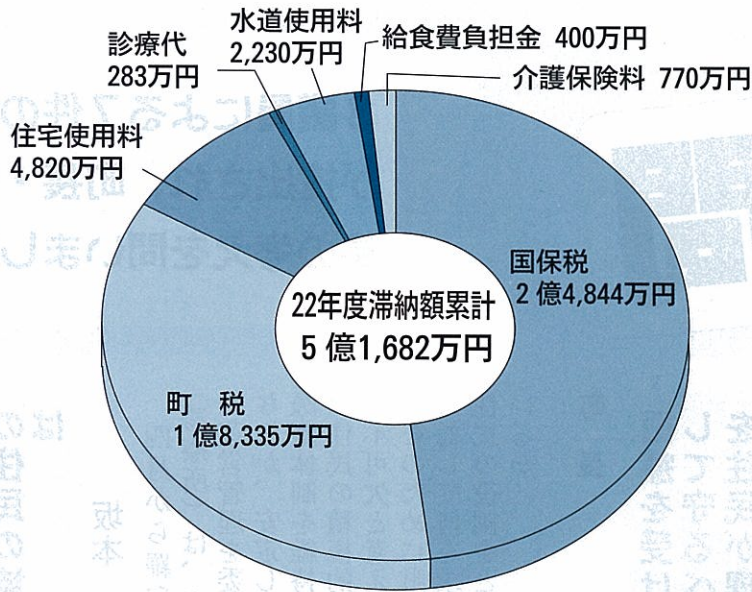
町税において徴収努力と「公平・公明・公正」の観点から悪質な滞納者に対しては法的手段による徴収など、収納率の向上に努め、併せて税以外の使用料等においても未収金収納に対する対応について具体的な対策を望むところです。地方自治体を取り巻く環境は、大変厳しい状況にありますが、国及び北海道の動向を注視し、最小限の経費で最大の効果を得られるよう不届断の努力を望みます。本委員会は全員の一致で認定すべきものと決定しました。

平成二十三年十二月十五日
羅臼町会計決算特別委員会
委員長 佐藤 晶

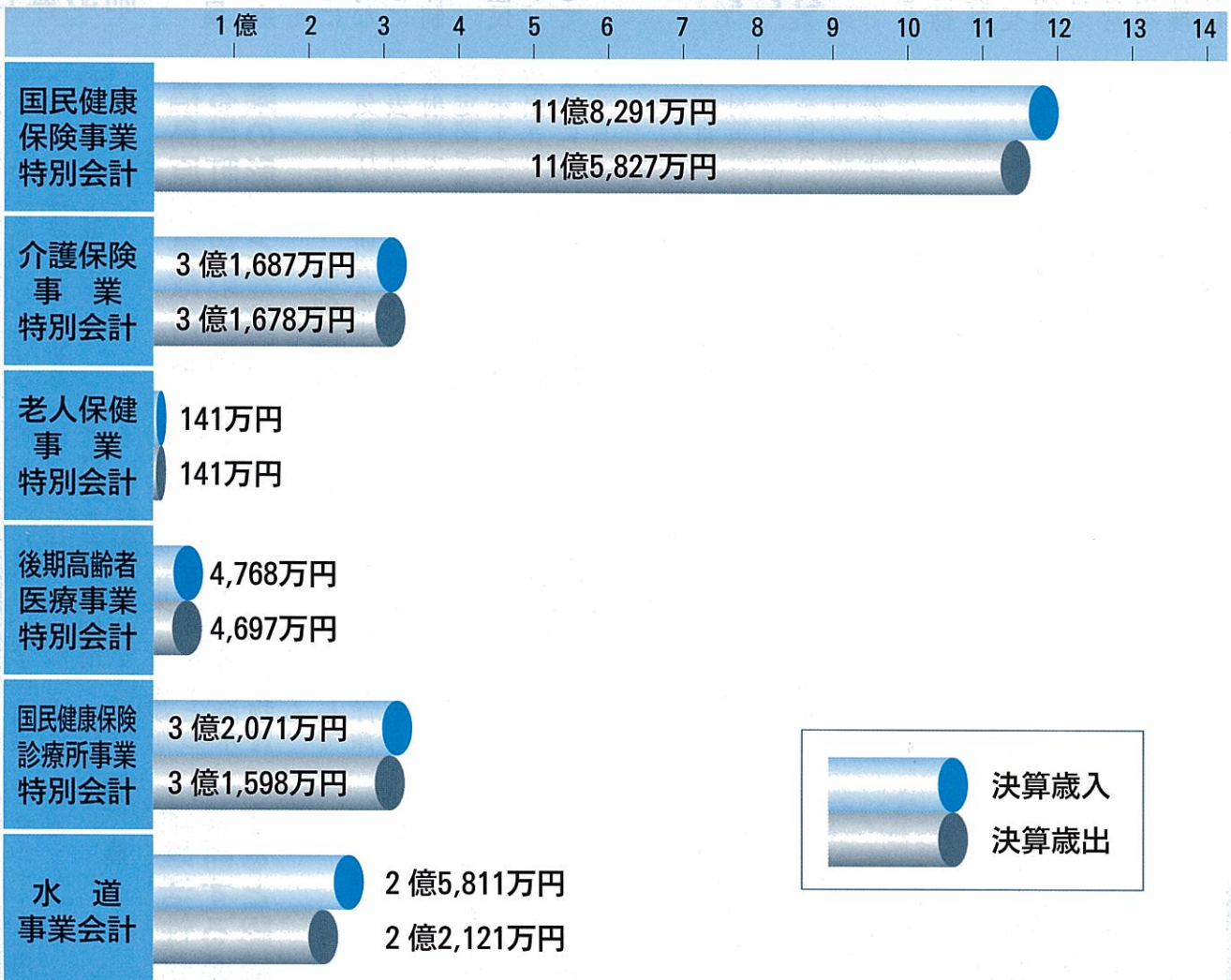




(歳入) 40億6,849万円 - (歳出) 39億4,168万円 = (差引残額) 1億2,681万円

町の



22年度主な滞納額



 決算歳入
 決算歳出

平成22年度特別会計・企業会計決算

質 問

3議員による7件の質問
が提出され、町長・教育
長の考えを問いました。

新診療所の安定した持続的な医療体制を維持するため住民の協力的体制

坂本 志郎議員

四月から羅臼町の医療（診療所）は、孝仁会にその運営管理を委ねることになるが、安定した持続的な医療体制を維持するためには住民の積極的な協力的体制が不可欠と考える。

そのために町として住民に対して何を求めるのか、住民の役割をどう認識しているか。

町長

医療を受ける側として守るべきことを住民が理解すること

町として住民に求めるものは、医師が疲弊せずに勤務できるように安易な時間外受診、いわゆるコンビニ受診をしないことや、定期健康診断の受診など、具合の悪いときだけではなく日常的に自己の健康管理に気を配ること、又、医師や看護師など医療スタッフに対し

敬意を持って対応するなど医療を受ける側として守るべきことを住民が理解する必要がありますと考えます。

福島原発事故による当町の放射能汚染の影響と対策は

坂本 志郎議員

気象庁など研究チームの発表では、原発事故による放射性セシウムの全国分布推定図で釧根管内が高い値を示すとともに、大気中に放出されたセシウムは四月までに七〇％、八〇％が海に落ち汚染されたはずと分析している。

その上で当町の食物（学校給食）・水産物等の影響と対策はどうなっているか又、自治体が地域住民に責任を負う立場から町として独自の調査を行い、結果を公表し住民の不安を解消することが必要ではないか。

町長

学校給食・水産物・海水ともに放射性物質は検出限界以下であり安全性に問題はない

当町に放射線測定機は設置していないが、学校給食については、産地など十分考慮したものを使用している。水産物については道の測定検査の結果、暫定規制値の範囲内であり安全との結果が出ている。又、海水検査についても放射性物質は検出されておりません。当町の独自の対応として当町で取水している海洋深層水の検査結果を町のホームページで公表しています。

自然エネルギー（地熱発電）導入を地域再生と一体で進めてはどうか

坂本 志郎議員

地域にある自然エネルギーとして当町は地熱発電が考えられるが、この利用方法を開発し、活用することは町の持続を考える上で必要課題であると思う。

私は自治体や住民団体が自分たちの事業として、小規模であっても発電施設（小さな電力会社）を所有すべきと考える。

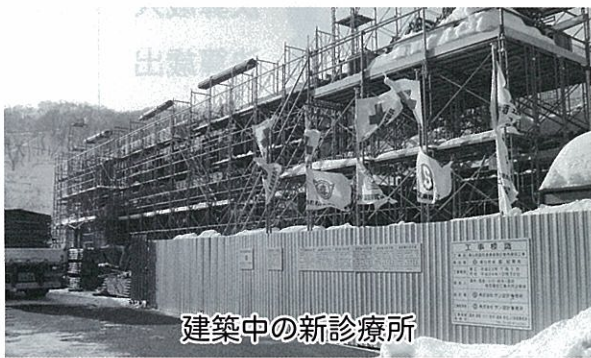
自然エネルギー導入を地域の再生と一体で進めるために、調査活動を行うこと

併せて公共施設でも太陽光エネルギー活用を検討してはどうか。

町長

地域活性化を含め検討する必要性があることを認識している

現時点では、地熱による温泉供給が利用実体としてあります。再生可能エネルギーを活用するためには調査・研究が必要ですが、地域活性化を含め検討する必要性があると認識しています。



建築中の新診療所



路線バスによる通学

平成23年12月定例議会



義務教育の子供達の通学費は全額補助すべきである

高島 讓二議員

平成二十年に知円別小中学校、平成二十二年には飛仁帯小学校、植別小中学校が廃校となり、それぞれ羅臼と春松に統合され岬町、海岸町、峰浜町、幌萌町の子供達は路線バスによる通学を余儀なくされている状況です。

現在、廃校時、在校生は通学バスの全額補助の対象であるが、廃校後の新入生からは補助の対象となっていない。

また、海岸町から通学の中学生についても補助はなく自己負担でバスにて通学しているのが現状です。

通学距離の根拠となっている「義務教育諸学校の法律」では小学校は概ね四キロ以内中学校は六キロ以内という定めがあります。

私は、義務教育の期間中は通学距離の根拠となっている法律の観点からも区域外に住み路線バスで通学する子供達から通学費というハンデをなくし、公平、平等に教育を受けられるように通学費は全額補助すべき

であると思います。
ちなみに本町を除く管内一市三町はこれらをすべてスクールバスにて対応しております。

町長

路線バスを一律百円にした経緯を尊重したい

平成十四年の生活バス路線確保及び町有バスの有効利用に関する検討会の答申を踏まえ、議会論議の中で「受益者負担意識の高揚につながる」との考えから小学生から一般客まで一律百円の有料化した経緯を尊重したい。

また、定期券の月額を小学生千五百円、中学生を三千円と定めている。

町税、国保税、町営住宅使用料の収納について

高島 讓二議員

平成二十二年度の町税の収納率は七十七・六%と極めて低調な数値であります。この数値と連動するように千二百万円を回収不能とし

て欠損処理をしております。これでは、真面目に町税等を支払っている町民にとっては大きな不公平感を抱かせるものです。

管内他町の数値を見ますと別海町は九十五・四八%、中標津町九十二・七%、標津町九十二・八%でいずれも全道平均の九十二%を上回っております。

また、国民健康保険税については更に収納率が悪く、六十一・七%、不納欠損処理は三千八百四十万円です。

町税同様、滞納、不納欠損処理をなくすためにどのようなお考えか。

町営住宅使用料の収納率は極めて低くなっており、収納率五十三・八%と半分強の使用料しか収納出来ておりません。

このような状況で、どのような対策を考えているのかお聞きします。

町長

差押え等の法的手段による徴収を図る

「公平・公明・公正」をモットーに税負担の公平の観点から、差押え等の法的

手段による徴収を図りながら、収納率の向上、自主財源の確保に努める。
新たな滞納を生じさせないために「強化月間を設定し、滞納者への折衝の強化」「差押え等の滞納処分強化」を本年度の重点実施事項とし滞納処理を行う。現年度課税分の収納に早期に取り組む。



郷土資料館について

湊屋 稔議員

- 一、郷土資料館があることの意義、必要性について
- 二、今後、多くの方に来館していただくためのPRや対策をお聞かせ下さい。
- 三、知床らうす、オホーツク文化を後世に伝えていくうえで専門知識と経験を持った人材が必要であり、現在の資料室長の後継者についてどのようにお考えか。

教育長

郷土資料館は必要性の高いものである

- 一、私たちは、過去と現在と未来をつないでいくという大切な使命がありますが、郷土資料館はそれを伝えていく場として必要性が高いものであると考えています。
- 二、体験学習を通じて多くの人々に歴史や文化の大切さをPRし学校との連携を促進していく。また、一般町民の方々の来館を促進する企画、観光的な



新郷土資料館内部



企画も考えながら利用者が興味や関心が持てるような積極的なアプローチを図ってまいりたいと考えています。

三、専門職員の果たす役割は重要であります。将来へ向けての人材確保につきましては理想的には経験者の確保が優先的な課題です。後継者の採用について町長とも協議をさせて頂き進めてまいります。

国後島の不発弾処理などの不穏な動きについて

湊屋 稔議員

- 一、不発弾処理について羅臼町がおさえている情報はどこまでなのか。
- 二、振動が漁業や海洋生態系に与える影響はなかったのか。
- 三、ロシアの不穏な動きが続いているが、今後懸念されるようなことはないのか。
- 四、北方領土と隣接しているさまざまなトラブルに巻き込まれながらの生活を余儀なくされている羅臼町として、このような問題にどう対処していくつもりなのか。

町長

関係団体等の意見を踏まえ対処

- 一、当町において六月から十月末までに十四回の空振が確認されています。確認後、北海道及び国の関係機関に情報提供し事実確認をしたところ、中古爆薬の処理を行っているとのことであった。



国後島

羅臼町としては、北海道を通じ適切な対応をお願いしてきたところです。

二、釧路水産試験場に照会したところ、一般的な見解では陸上の爆音や空振は海中に伝わることは考えにくく影響はないものと思われる。

三・四、北方領土の問題については、今後も更に注意深く情報を収集していかねければならないと考えております。

我が国は外交交渉を通じて様々な問題の解決を望むところであり、平和条約締結のもと、両国間に真の相互理解に基づき、安定的な関係を確立することが基本であると考えます。

一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場議会事務局までお問い合わせ下さい。

町政はあなたのために!! 議会を傍聴してみませんか。



- * 町議会の定例会は年4回(3・6・9・12月)開きます。
- * 町議会の臨時会は必要に応じて随時開きます。

総務民生常任委員会町内視察

平成二十三年十二月二十日、以下の三ヶ所の視察を行なった。

●新診療所建設状況視察

工事担当者より状況の説明を受けた。一階部分のコンクリートは完了のことだが地盤が悪く大変だったとのこと。二階部分は一月末、三階部分は二月末にコンクリート打ちを予定し、

その後内装工事に入り六月中のオープンを予定している。外構工事は旧診療所解体後に行なうとのこと、駐車台数は四十二台、暖房は温泉熱を利用することとした。

※冬期の工事であり、災害防止に注力を要請した。

●福祉施設「とつどる」視察

担当者から入所者の作業内容と収入、一人当りの月額報酬の説明を受けたが、収入の大きい現在の医師住宅の清掃が、平成二十四年度から無くなることが予想され、新たな収入確保の目途が立たないとのこと、行政の対応が必要と思われる

る。新診療所の清掃や新特養施設の清掃も検討、申し入れをすべきと考えます。※町内各企業・団体への要請を積極的に行う

●葬斎場の炉改修視察

現在二台ある炉の内、一台の改修が終了しており、担当者は操作に慣れるまでは大変だったとのことでした。

経済文教常任委員会町内視察

平成二十三年十二月二十一日、羅臼中学校、春松中学校、新郷土資料館の三ヶ所を視察した。

各中学校より施設の改善要望等をいただき、その部分を中心に視察した。

両校とも、建設されてからかなりの歳月がたっており老朽化が著しく、改善しなければならぬ箇所は多いのだが、今後計画されている中学校校舎新築計画の

動向を見ながら優先順位をつけ対応せざるを得ないと話も出ていた。

以下の改善必要箇所について視察したので、今後委員会として、教育委員会等と協議をしていきたいと考えております。

●羅臼中学校要望事項の補修

- 一、体育館器具室の雨漏りの補修
- 二、今年度中に設置されるトイレの簡易水洗化に伴

い冬期間の凍結防止
三、水道の圧力が弱い
四、玄関の落雪防止及び寒さ対策も含め玄関フードの設置

- 五、体育館放送施設の整備
- 六、スズメ蜂対策（網戸）
- 七、校舎の鍵の統一化
- 八、グラウンドの土の問題
- 九、鹿フェンスの設置
- 十、通学路石段のシェルター

●春松中学校要望事項

- 一、簡易水洗化残り六ヶ所
- 二、玄関前の街灯の設置
- 三、給湯・給水の配管交換
- 四、特別教室の水道整備
- 五、水飲み場・廊下の窓の二重サッシ化
- 六、職員の更衣室の設置
- 七、技術室の天井の修復
- 八、理科室・美術室のカーテンの設置

●新郷土資料館については、最終ページにオープンの様子を掲載しております。



羅臼中学校内



とつどるの作品

新 郷土資料館オープン

去年の十二月二十六日、旧植別小中学校の校舎を利用して新しく「羅臼町郷土資料館」がオープンしました。

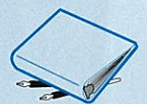
十二月二十一日には、経済文教常任委員会が視察を行って、事前に説明を受けていましたが、その日からみると、オープンに向けしっかり整理されており、二十六日の記念式典に参列した来賓も涌坂館長の説明に聞き入っていました。

資料館には、この地域の文化や歴史がわかる展示や古い生活用具や、写真等が展示されているので、年配者には懐かしく感じられることと思います。

一人でも多くの方々に来館していただけるよう、親しみやすい資料館を目指すので、皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。



編集を終えて



今年の冬は非常に寒く、雪も多いですね。水道凍結や落雪による事故も多いようです。
温かく、雪の少ない冬に慣らされていた体には、かなり大変です。
皆さん、御自愛下さい。
小野 哲也

議会の動き

10月

28日 釧路・根室管内における看護学校の早期開設要望 (札幌) 議長

11月

3日 北方領土返還要求運動関係団体との懇談会 (川端内閣府特命担当大臣 来根) 議長
9日 羅臼町表彰式 正・副議長ほか
12日 北方領土を学ぶ町民の集い 議長ほか
14日 全員協議会
16日 第55回町村議会議長全国大会(東京) 議長
19日 根室農業大賞表彰式・祝賀会(中標津) 議長
21日 議会運営委員会
22日 経済文教常任委員会 総務民生常任委員会 議会運営委員会
道東勤医協労働組合執行委員長来町 議長
28日 第6回臨時会
29日 北海道町村議会議員公務災害補償組合議会(札幌) 議長

12月

1日 北方領土返還要求行動中央アピール行動 議長
5日 根室町村議会議長会臨時総会 正・副議長
6日 根室北部一部事務組合議会 正・副議長ほか
根室北部廃棄物処理広域連合議会 正・副議長ほか
根室北部衛生組合議会 正・副議長ほか
8日 議会運営委員会
9日 経済文教常任委員会
12日 総務民生常任委員会
13日 議会運営委員会
15日 全員協議会 第4回定例会 議会運営委員会
20日 町内行政視察(総務民生常任委員会)
21日 町内行政視察(経済文教常任委員会)
26日 羅臼町郷土資料館オープンセレモニー 正・副議長ほか

1月

4日 羅臼消防団出初式 議長
7日 羅臼町成人式 正・副議長ほか
議会だより編集特別委員会
14日 玄葉外務大臣北方領土視察来町 議長
" 元島民・返還要求運動関係者との対話 議長
(根室)
17日 議会だより編集特別委員会
20日 議員懇談会
23日 議会だより編集特別委員会
24日 町長・議長・商工会正・副会長が新年を迎え語り合う 議長
会(中標津)
26日 議会運営委員会 総務民生・経済文教合同常任委員会
30日 第1回臨時会
31日 羅臼町建設業協会新年交礼会 議長

2月

6日 羅臼救難所総会 議長
7日 北方領土の日・根室管内住民大会(根室) 議長